

+幸せを探すあなたへ

子どもを育て、どうしますか？



卒業しても心配、入学しても心配 現在、失業者として分類できる人は346万人で、年が経つほどますます増えていると言われています。今、世の中は子どもの自我を実現する以前に、食べて生きるための戦争でさらに激しくなっています。先週、中国では13億を泣かせた女子大生の自殺事件がありました。彼女が残した日記の内容は、見る人の胸をより一層痛くしました。「臨時職一つ手に入れるのが、このように大変だとは...卒業した後、就職するのがどれくらい難しいだろうか。身を粉にしてもよいと思って目の高さを低くしたが...ああ、本当に疲れる。希望が見えない。何の目標もなく、一日一日を過ごす。このように続けば、どんな悪い結末がくるかわからない」2009年大学卒業予定者は総55万6,000人余りなのに、そのうち40%以上が失業者だと言われています。大学登録金はすでに100万円時代が到来して、大学を卒業するまで1千万円を越えるお金が投資されるというので、親の口から「子どもを育て、どうするのですか」という嘆きが出てくることさえあります。さらには、過去3年間の青少年悩み相談電話1388に、青少年の逸脱非行問題、学業問題、家族問題、性的問題、精神健康、親虐待、自殺などの悩み相談が何と25倍も増えたという統計は、子どもを育てる親に、危機を越えて、絶望感を持たせることさえします。それだけではありません。新学期が迫ってきた小学校では「新学期症候群」に苦しめられている子どもたちが増えていて、低所得層の子どもたちの「貧困症候群」まで登場しているとは、いったいどのように子どもを育てなければならないのでしょうか。

いったい子どもの問題はいつ始まったのでしょうか。聖書を見ると、悪賢いサタンは策略を通して、アダムとエバからエデンの祝福を奪ってしまい、愛でいっぱいだった家庭を破壊しました。結局、その子どもであるカインに神様に対する反抗とともに、弟に対する憎しみとねたみを持つようにさせ、恐ろしい殺人に発展させ、さらにはカインの子孫すべてがのろいの下に置かれる人類の災いを呼び起こすようにさせました。こんにちの社会問題と絶えない子どもたちの墮落文化は、カインの子孫が作り出した遺産です。レメクは1人の女性と一人の男性が一つのからだとなって家庭を作りなさいという神様の法を無視して、一夫多妻制の文化はもちろん、享楽と淫乱の文化を作り出しましたし、トバルカインは各種の鋭い武器を作って、憎しみと復讐、征服と戦争を深刻化させました。このサタンは、今も私たちの子どもたちのたましいを踏みこみ、家庭を破壊しながら、より進んで、社会問題を起こさせています。しかし、神様は人間の生活がこのように虚しく終わるように放っておかれませんでした。私たちが何もできないと挫折している時、何の条件もなく、神様の御手を差し伸べてくださいました。「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます」(ローマ人への手紙 5:8)アダムの家庭を破壊して、カインを墮落させて、次世代を没落させてしまったサタンの権威を、十字架の事件で一気にうち破ってしまわれたキリスト、運命というくびきを負わされ罪の奴隷になるしかない人生を解放されたキリスト、誰も理解できない、内側に隠した無気力のゆえにさまよっていた人生に神様に会う真の幸せの道を開いてくださったキリスト、その方がまさにイエス様だと聖書は証明しています。今日、私のそばに来ておられるその方を、私と私の子どもの人生の主人として受け入れることが、私を生かして、家庭と次世代を生かす唯一の道です。

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」(使徒の働き 16:31)

重職者伝道企画チーム

私に与えられた特別な時間 特別キャンプの祝福



「イエスがキリストじゃないの」 神様の子どもになった人生がいつも幸せだと話せるのは、どんな問題、事件の中にも、神様のより良い計画が含まれているためです。この前、倒れて頭をケガしたお母さんが、病院で検査を受けましたが、思いがけない検診結果が出てきました。脳に腫瘍ができていたのですが、大きくなっていましたので、一刻も早く手術をしなければならぬということでした。6時間かかると言われた手術は、9時間かかり深夜2時に終わりました。幸い、お母さんは午前10時頃に意識を回復して、初めての面会時間に聞いた告白は、心に深い恵みを残しました。「お母さん、大変だったでしょう。大丈夫ですか」「大丈夫。イエスがキリストじゃないの」手術がうまくいって心に来る喜びより、その困難の中でもキリストの契約を握って信仰を告白するお母さんの姿に、さらに感謝しました。問題と事件という特別な時刻表の中でも、キリストの契約で一つになって、共に祈りの祭壇を築き、神様の特別な計画を発見するのが私たちの幸いであることを、もう一度確認することができました。

特別な時間、特別な祝福 パウロの伝道旅行にも、特別な時間がありました。テサロニケで三週間、会堂で三ヶ月の間、ツラノ講堂で2年間の時間の中で、神様の特別な計画を味わいました。私たち子どもたちが軍に行って、大学に入って、どんな訓練に入るのか、すべて神様の特別な計画を成し遂げる機会です。そして、特別な時刻表を与えられるのは、その中に備えられた弟子がいるためです。その弟子を探して立てるのが特別キャンプです。その事実だけ発見すれば、次のことは簡単になります。私たちに特別な期間が与えられる時、私が先に神様の恵みを受けて、その次に、この恵みが必要な人を訪ねて行って、その中で神様の計画を探すのです。それで、神様の前に基準をおいて、聖霊の導きを受けるために祈ることが最も重要です。この時、重要な出会いが成されるようになります。その中で、弟子が発見できて立てられるようになります。私に与えられた特別な時刻表の中で、聖霊の導きを受けたら、現場の働きと個人の運命を変える事が行われるようになるのです。これが特別キャンプの祝福です。



神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決して下さったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来て下さって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの中の五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ8:15~16、1ヨハネ5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ14:26~27、箴言3:5~6)

救いの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(1ヨハネ1:9、ローマ3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ8:31~37、1ヨハネ5:4)



神様の子どもの中の毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

何に根をおろして生きておられるのですか

問題以前の問題 過去には情報があまりなくて問題だったのですが、こんにちの世の中は、情報があまりに多くて問題です。それで、ある人が表現して「人間は Information 時代を越えて、情報の洪水に流されて行く Exformation 時代の中でさまよっている」と告げました。ところで、人間の幸せは、情報があるかないかの問題ではなく、根本的な問題があることを聖書はあかしています。人間がどうてい分からない問題以前にあった問題、これが人間の不幸の原因なのです。創世記 1 章 2 節を見れば、アダム以前に、すでに暗やみと混とんと空虚とともにサタンと呼ばれる暗やみの勢力の存在が人間に不幸の問題と結果をもたらしたと語られています。

解答の中の解答 私は幼い時から教会に通っていたのですが、福音が分からなくて、とてもさまよう生活をしました。それで、ある時は、このように生きるより、死ぬほうが良いのではないかと考えさえしました。あちこちを探し回っても答えがなかったのです。寺では「あなた自ら悟ってブッダになれ」と言うのですが、私自身ができるのは自殺しかありませんでした。天理教に行くと「あなたが間違ったことをみな返さなければならぬ」と言われました。私は間違いがあまりにも大きいから、解決することができなかつたのです。カトリックに行ったところ、善行をして救済をなささいと言われたのですが、私はそのような力がありませんでした。それこそ、絶望状態でした。そのようなある日、聖書で「神様があなたの呪いを受ける罪のためにキリストを送られた」と語られている事実を悟るようになりました。さまよっていた私に、完べきな解答でした。沼に落ちた人は自ら上がってくることはできません。沼に落ちた人には、綱を投げかけて、力がある人が引き上げてあげなければなりません。これが答えです。「あなたをつかんで、最後まで滅ぼすサタンの権威をキリストが打ち砕かれた。あなたが受けなければならない呪いを死からいのちに移された」この福音が、私の胸にあたってきました。「そうだ！人間は罪人だ。義人はひとりもいない。すべての人が罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができない。罪からの報酬は死だ。何もできることはない。人間はサタンに勝てない。それで神様がその権威を打ち破れるキリストを送られた」私はこの事実を握りました。ところで、これがどういうことでしょうか。神様の驚くべき働きと祝福が続けてき始めました。この福音の力がどれくらい大きいのか、イサクが受けた答え、私が受けた祝福は一万分の一にもなりません。福音の力を分かったら、皆さんのそばに来ている呪い、失敗、貧困は皆さんのものではありません。キリストの契約をつかむのが、解決の開始です。そうすれば、今日から自然に答えが始まるでしょう。

今から始めてください 福音の力を分かった人々は、みな成功しました。彼らは大きい困難の中でも試みに陥りませんでした。言い訳したり、恨んで落胆しませんでした。ねたんだり嫉妬して非難することはありませんでした。いとこが畑を買ったら腹が痛いという言葉があります。私は畑を買えなかつたのに、いとこが畑を買ったから腹が痛いのです。福音の力を分かったら、祈りの答えを受けているならば、ねたんだり嫉妬するのでなく、喜んで感謝しなければなりません。どのようにしなければならぬのでしょうか。毎日、事件ごとに、仕事ごとに神様を見上げて、神様の御声を聞いて、神様の前に立つ人生キャンプを通して福音の根をおろすのが最も良い方法です。それで、次世代がエリート（規律（読書、勉強、成功者の規律）と霊的な力（祈り、みことば、証拠）を持って、毎日、感謝しながら真の答えを見るようにさせなければなりません。この奥義を持った人が立っている現場が、まさに地教会の現場です。今日、歩かなければ、明日は息を切らして走らなければなりません。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

9日(月)

聖霊の満たしを継続するためには
(使徒 4:29~31)

聖霊の満たしを継続するのが信仰生活を最も上手にする道です。一人である時、祈りの力を味わえるならば、全てのことを超越するようになって、使命と祈りが通じる人と共に祈れば重要なことが起き、全体が一つになって祈れば奇跡が起こります。

10日(火)

世界福音化のための世界化(ピリピ 3:20)

成功する生活を送ることよりさらに重要なのは、霊的問題を解決する答えを持っていることです。福音の根を深くおろせば、どこに行っても、どんな文化でも、世界化の機会と土台になります。

11日(水)

神様の奥義の管理者(エペソ 4:1~2)

人間の過去、現在、未来の問題を全部解決する道、人間を失敗させる霊的問題を解決できる唯一の道がまさにキリストです。このキリストの奥義を持って神の国を味わう者は、当然、答えを受けて現場を生かすようになります。

12日(木)

過去は永遠になくならない土台(使徒 5:1~11)

神様の力を分かったら落胆できません。信仰で一つになって祈ることができるならば、私たちの過去と問題は、むしろ教会を生かして、次世代を生かす土台になります。神様の子どもに全てのことは機会であり、土台であるだけです。

13日(金)

問題解決の道(使徒 5:12~16)

仕事をよくすることよりさらに重要なのは、私がどの隊列に立っているかということです。福音が伝えられる隊列、聖霊の満たしが継続する隊列、神様の重要なことが成される隊列にいる人には、必ず答えとみわざが起きます。

14日(土)

私を見つけましょう！(テモテ 2:1~2)

「私は神様の子どもだ。神様は全能だ。その神様が私とともにおられる。」この恵みを受けた私を見つけるのが、すべての成功と最高の答えの開始です。

週間メッセージ

産業宣教	世の中の問題とキャンプ (創世記 1:1~3)
伝道学	地教会の意味(創世記 39:1~6)
核心訓練	真の地教会運動(使徒 16:15)
聖日 1部	イサクが受けた答え (創世記 26:10~25)
聖日 2部	霊的な目が開かれた人々 (使徒 19:21)



イラスト_ユン・スルギ

通じる 人

夫婦は前世の敵どうしが会うと仏教では話している。最も近い人々だが何かが通じないので、その人はひょっとして敵だったのではないだろうかと思う危惧から発展した考えだと思われる。

歴史的に最もコミュニケーションの道具が発達した今の世代で、最も難しいのが互に通じないことだ。誰でも手に持っている通話の道具が、通じない人々の中に立っているためなのか、携帯電話はどこであっても止められない。国家の大使を決めるその場でもまったく互いに疏通ができないので、苦しがる与野党の姿が見られ、南北間や国家間の誤解も、ここから現れ、特に人間の霊的問題にも同じ原理が適用される。

本来、人間の姿の中には、絶対者である神様との関係で絶対的なつきあいがあることを見られる。完全な疎通によって、人間は最高の知恵と最高の自由を味わえ、人間が踏む地と、その周辺のあらゆる物は人間に与えられ、治めて服従させる存在に過ぎなかった。神様との疎通は、全てのものを自由にして、その中心に人間がいた。しかし、人間に訪ねてきた不通は、だます者サタンによる結果であった。自由であったのにもかかわらず、自由を守ることができない人生は、永遠な不通の中に閉じ込められた者になって、すべての哲学の背景がここにあると言える。深いやみの中で墨で、黒い紙に黒い筆で美しい文字と絵を描いても、すでに迫ってきた不通の問題は解決されない苦しみをもたらし、その結果、今、存在するすべてのやみに、すべての人々の心と思いが普遍的にとらえられている。それで人間が道を探す方法として考案したのが宗教で、その暗やみの疎通の中で、人間はまた別の問題の道に駆け上がっている。

神様は人間との疎通を望まれて、その疎通の証拠で、この世にキリストを送られた。ふさがった道を開かれた道としてのキリスト、今、受けていてまた受けるしかない呪いと災いの背景になる罪の問題を解決したキリスト、だます存在だと分かって勝てないから十字架であがないの血を流されることによって、復活して、非常に恨めしい存在である暗やみの権威を打ち砕かれたキリスト、その方が不通の世の中に疎通へ導く方としてこの世に立たれた。その方がキリストなので、人間にはそのキリストが必要で、それによって自由を得るのだ。キリストによる福音だけが、人生の永遠な解答になるので、その方を受け入れることは単純なことだが、その結果は、疎通の段階を越えて、すべてに栄える座に上げられるようになる。その明るい光の中で、道に迷って見た者だけが、案内者の助けが何かを理解して、食事でありつけなかった人だけが食事の感謝が出てくるのだ。普通の人々の時間は、誰でもやむを得ず過ごす生活であるが、これは選択できなかった時間が私たちにあったためだ。しかし、今この時間は私が選択することができる時間で、私が通じる人になるかどうかの時間だ。もうその選択は、幸いな知らせと永遠の中での選択なので、一生、通じることを味わう自由を得る時間なのだ。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください